

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	県民活動総合センター
指定管理者	公益財団法人いきいき埼玉
評価対象年度	令和3年度
施設所管課	共助社会づくり課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	危機管理マニュアル等を備え、消防計画に基づき委託業者を含む全職員参加の避難訓練等を実施し、緊急の事態に備えた。
	法令等の遵守	A	消防設備保守点検などの法定点検業務を適切に行っている。
	平等利用の確保	A	許可手続は適切に行われている。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	目標値は講座実施回数104講座以上のところ、104講座を実施し目標を達成した。 コロナ禍の事業実施に当たっては、ソーシャルディスタンス確保などの感染防止対策のほか、一部の講座をオンラインで行うなどの工夫が見られた。
	利用状況	A	コロナ禍で施設の定員制限や時短営業をした影響により、利用者数は294,989人で、目標値より▲455,011人となった。 しかし、語学検定試験の会場を新たに誘致するなど、コロナ禍でも利用者数の増加に向けた取組を行っており、令和2年度と比べて約3割利用者が増加するなど、一定の成果が見られた。
	適切な管理の履行	A	基本協定書及び年度協定書に基づき適切に管理を行っている。 また、コロナ対策のため、出入口の自動検温器や消毒液の設置、窓口のパーテーションの設置、施設内の消毒や換気の徹底など、安心・安全な施設運営が図られた。
	財産の適切な管理	A	建物や設備の修繕は、利用者の利用状況を勘案し、修繕時期を設定して実施するなど、利用者を第一に考え適切に行われた。 また、不要な備品を適宜処分するなど、適正に管理を行った。
利用者サービスの 向上	サービス内容の向上	A	ホームページやデジタルサイネージ、SNSを活用した情報発信など、利用者の利便性の向上に努めた。
	利用者の満足度	A	利用者アンケートでは、94.6%の方が、講座受講者アンケートでは91.9%の方が満足と回答しており、両方とも目標を上回る適正な状態である。
安定した経営 基盤	適正な財務状況の 確保	A	コロナ禍で施設の定員制限や時短営業をした影響により、利用料金収入は56,681千円で、目標額より▲69,189千円となった。 しかし、語学検定試験の会場を新たに誘致するなど、利用者数の増加による収入増の取組や業務の効率化によるコスト削減など、適正な財務状況の確保に向けた取組が見られた。
総合評価		A	コロナの影響により、施設の利用制限や事業の縮小を余儀なくされたが、感染拡大防止対策を徹底し、安心・安全な施設運営がなされた。

特記事項	特に評価すべき点	消毒液の設置やソーシャルディスタンス確保など、基本的な感染拡大防止対策を徹底しつつ、利用者の新規開拓や講座のオンライン開催など、利用促進に向けた工夫が見られた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	引き続き感染拡大防止対策を徹底しながら、ウィズコロナに対応した事業実施に努められたい。